

がんばれ看護学生!!

2013年5月号 第182号

発行: 京都民主医療機関連合会 ホームページ: <http://www.kyoto-min-iren.org> E-Mail: kangogakusei@kyoto-min-iren.org
〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階 TEL (075)314-5011 FAX (075)314-5017



京都民医連の医系学生企画として、京都民医連中央病院で「手術室体験」をしました。当日は看護学生6人、医学生1人が参加し、手術室を見学しながら、看護師から説明を受け、オペ着も着て、手の洗いや、オペ器具の説明等を受けました。



◆参加した学生さんの感想

- ★手術室は怖いイメージだったけど、いろいろ説明してもらえてとても面白かった。
- ★音楽が流されていたり、患者さんを出来る限り緊張させないような工夫がされていることを初めて知った。
- ★器具の説明や、面白い話を聞いて、とても楽しかった。
- ★先輩看護師から話しが聞けてよかった。早く看護師になりたいと思った。

夏休みにもナーシングセミナーをします。ぜひきてくださいね。

「がんばれ看護学生」は看護学生の方にお送りしています。住所変更をされた場合、また、通信がご不要になった場合は、おそれいりますが、上記の看護学生専用アドレス宛にご連絡いただきますよう、お願いいたします。

今月の記事

- 1p オープンホスピタル
- 2p 私の大切にしている看護
- 3p 平和塾（韓国平和の旅に参加して）
- 4p 今月の一押しナース
- 5p 映画のご紹介
- 6p 自主避難されてきた西山さんのお話
- 7p 受験アドバイザー募集・ENS参加者募集
- 8p おススメ・おたより

私の大切にしている看護

吉祥院病院
看護部長竹永百合子

看護師になって28年、内心ではウソー！！と思っています。最初から、看護師志望ではなく、紆余曲折があり、手に職をと考えた時に、たまたま看護学校という道があったのです。食道癌で長く闘病した祖母は、看護師の仕事は汚くてきつい仕事なので、孫、子の代までさせたくないと言って亡くなりましたが、私は看護師になりました。

看護の仕事に対して、自分が向いているのか、他に向いている仕事があるのではないかと、20代の頃は模索し、あがきました。しかし、「看護も捨てたものではない」と教えてくれたのは、その当時、勤務していた岡山協立病院で、看護を学ぶサークル「ポプラの会」がありました。互いに文献を持ち寄り学習をしました。そこで「看護は実践の科学である」ことやその当時、話題になった「熱布清拭」を実際に互いに演習しました。腰背部を熱布で温めるだけで入浴と同じ効果があるので、その後、清拭の度に患者さんに施行しました。できるだけ熱い温度でと私の手はふやけて痛かったことを懐かしく思い出します。腹水がたまり、苦痛のために自分の身体を持て余している患者さんにケア（清拭・足浴）を通して、苦痛を取り除き「あー気持ちいい」と言ってもらうか、言わせるか、私にとって看護のやりがいでした。今は、実際に患者さんに直接ケアはしませんが、川島みどり先生の「手あて」という言葉は、看護師として大切にしたい看護です。看護師の手が、患者さんを癒すことができると。先日も胃カメラの時、緊張している私の背中を、外来の看護師さんが優しくなでてくれました。私の緊張は溶かれ、上手に胃カメラを飲み込むことができました。看護師の手はゴットハンドと歓心しました。

私の看護・・・いつも頭に浮かぶのは、看護学

生の時、吉田病院の精神科病棟の看護師長さんが、言われた言葉「病院（精神科）は止まり木だと言う。病院の外で疲れた心を、ここに休めにくる。精神科なので、入退院を繰り返す患者さんはいる。すぐに入院してくるが、よく頑張ったねと温かく迎えてあげたい。人で傷ついた心は、人でしか癒されない。また飛び立てるように休んでもらう」決して精神科だけでなく、どこでも通じると思います。初心を忘れそうになった時に思い出す言葉です。



看護師が「捨てたものではない」という理由のもう一つに、トラベルビーの「人間対人間の看護」の「レポート」という体験があります。もちろんすべての患者・家族と結べるわけではありませんが、これは、あれは、「レポートの体験！！」と思える看護の体験があります。患者さんは男性、肺癌の術後、何度目かの入退院を重ねた終末期。苦痛の緩和のためその当時は、セデーションがされ、眠った状態でした。その男性に付き添う奥さんに「話ができなくてお辛いですね」と声をかけると「残された時間が短いとわかってから、2人で色々な所に旅行に行った。そこで充分話をしてきた。もう大丈夫。もう御苦労さまで言ってあげたいと思っている。今は苦痛をとってあげたい」と静かに穏やかに話され、主治医や看護師を信頼して共に闘ってくれたことに感謝もされ、とても静かな時間でかけがえのない時間に思えました。人間対人間の心がかよい合う瞬間だと思いました。



民医連の言う患者の立場に立つ看護はトラベルビーの言う「人間対人間の看護」だと思っています。相手（患者）の立場に立ち、自分だったらこんな時どうしてほしいかと考えられる看護師でありたいと思います。



今月の一押しナース

京都民医連中央病院 産婦人科病棟 助産師 岡 まどか

(三重県立看護大学 2012 年卒業)

1、就職を決めたきっかけ

ほかの病院も見学しましたが、中央病院は卒後3年目以降までしっかり教育体制が整えられていたことと、産婦人科の混合病棟で赤ちゃんからお年寄りの方まで幅広い世代の方とかわることができたりことやファミリーバース、自然なお産を推奨している事にも魅力を感じて決めました。



2、働いている中で感じている事

お産の介助はとても緊張しますが、ご家族の方も含めて誕生を喜べることにとても魅力を感じています。初めて育児される方も相談しながら育児に取り組み、退院される頃にはたくましい母親の姿で帰られ、その姿に毎回感動しています。患者さんは急性期～慢性期まで幅広いですが、チームでカンファレンスしながら関わる中でちょっとした変化があると患者さんのもつ力に私が勇気づけられます。まだ2年目になったばかりで緊張しますが、様々なキャラクターの患者さんや病棟の先輩方に囲まれて、楽しみながら毎日頑張っています。

3、同じ学校の後輩に、一言アピール

三重の子には、京都の病院を考えていない学生さんも多いかと思いますが、中央病院はチームの連携もあり、病棟は和気あいあいとしています。ぜひ見に来てください。★京都は遊べる場所がたくさんありますよ★

4、岡助産師の魅力

いつも笑顔で活気に満ちあふれた素敵な助産師さんです。持ち前の明るさで、産婦さんだけでなくスタッフにも元気を与えてくれます。



(インタビュー：産婦人科病棟 助産師 山本 千鶴)



平和塾（京都市民連主催）の韓国平和の旅に参加して

京都市民連第二中央病院 看護師 松本ひろか



今回、私は平和塾の研修の一環で韓国の様々な施設に行ってきました。この研修を通して戦争・平和について多くの学びがありました。

まず最初に訪れたのは、京都市民連中央病院と姉妹関係を結んでいる総合病院、グリーン病院です。この病院はソウル特別市東部にあります。日本の東洋レーヨンの労災事故をきっかけに、職業病について研究したり働く人に医療を提供したりするために設立されました。病院に到着してまず目に入ったのは、玄関の横にある縦 15m 程度のモニュメントでした。遠くから見ると様々な絵が描かれているように見えますが、近づいてみるとスプーンやフライパンなどのガラクタでできていました。このモニュメントには「労働のために」というタイトルがついており、働けなくなった人がゴミのように捨てられるのではなく、人として生きられるように保障されなければならないという意味が込められているそうです。病院の施設内にも、韓国の画家の絵や、詩人の言葉や患者の思いが書かれた作品など多くの芸術品が展示されていました。グリーン病院には、「労災研究室」というものがあります。労働や環境、健康など、職業労災についての研究がされており、韓国でもベスト5に入る研究機関としての役割を担っています。最近では、普段の生活で受ける化学物質の研究や、放射線を監視する機関として取り組んでいるそうです。病気を治療する立場から、職業労災などの社会問題に取り組んでおり、人々の生活に寄り添った病院だと感じました。病院見学の後、グリーン病院の職員と交流し、韓国の看護師不足の原因や日本との患者層の違いについて学ぶことができました。

次に訪れたのは、ナナムの家です。ナナムの家とは、アジア太平洋戦争で日本軍に性的暴力を受けた被害者女性が共同で生活している福祉施設です。ナナムの家で生活するハルモニ達は、訪問者との交流や毎週水曜日に行われる軍「慰安婦」問題のデモなど様々な活動を行っています。ナナムの家の隣には日本軍「慰安婦」歴史館があり、軍「慰安婦」制度の実態や女性達の被害について学びました。この制度は、当時の日本



が占領していた地域の統治を円滑に進めるため、兵力を低下させないために日本軍によって作られました。そして、その中で

けたことを知りました。また、当時の後遺症や差別、軍「慰安婦」問題を認めない日本政府の姿勢など戦後も被害者の苦しみは続いており、この問題が過去のことではないことが分かりました。

また、独立記念館にも訪れました。1910～1945 年の間、韓国は日本の植民地支配を受けていました。この植民地時代の弾圧や虐待の事実と、そこから独立に至るまでの運動の歴史が独立記念館に展示されています。1910 年、日本は韓国を併合し、武力を背景とした植民地支配を行いました。その中で、学校で日本史や日本語を強要したり、土地調査事業で多くの農民の土地を取り上げたりしました。また、民族運動を禁止し、政治活動を行っている人を拷問し殺害しました。館内では拷問の現場が等身大の人形で再現されており、目を逸らしたくなる場面がありました。館内のガイドさんは、拷問をリアルに再現してあるのは、自国を守る力がなく侵略された事実を知り、若い人に自国を守ることの大切さを伝えるためだと教えてくれました。韓国では義務教育の中に歴史の時間が多く組み込まれており、特に近代の 100 年を重点的に教えるそうです。日本では近代史は深く学ばない傾向にあり、日本と韓国の歴史に対する認識の違いを知ることができました。また、西大門刑務所やタプコル公園に行き、朝鮮併合から独立に至るまでの運動の広がりを学びました。



今回の研修を通して、太平洋戦争中に日本が韓国に行ってきた加害の事実を知ることができました。当時日本が受けた被害と同じようなことを日本も行っていったこと、日本政府は日本の加害について未だに謝罪しておらずその事実を否定していることを知ってショックを受けました。日本に住んでいても、積極的に関わろうとしないと戦争の史実を知ることは難しいと思います。今回の研修をきっかけとして、過去の戦争や現在の情勢、平和とはということについて考え発信していきたいと思っています。



映画の紹介



新人看護師の奮闘を描く
新作ミュージカル、
「明日天使になあれ」をご紹介

【あらすじ】

照屋真央は23歳
関西総合病院・手術室勤務の看護師
真央は職場の先輩に誘われ、
ミュージカル劇団『アップル・パンチ』
に入団する。

歌に演技にダンス・・・
仕事との両立に悩む。
「人の命を預かる仕事なのに、
ミュージカルなんか
やってていいのかな？」

そんな真央に
つかず離れず、激励する勤。
ついに、アップルパンチの
公演がさまる。



6月5日(水)・6日(木)

上映時間両日とも①14:00②16:30③19:00

京都教育文化センター

京阪電車新宮丸太町駅下車⑤番出口/京大病院南側

前売券：一般1000円(当日1300円)

前売り券は最寄りのローソンで購入できます

(Lコード：55695)



3.11を忘れないで



2011年3月11日のその日、福島を震度6弱の地震が襲った。当時2歳の子は片言しかしゃべれないのに、「じしん」という言葉を話すようになった。ライフラインが断たれ、水を確保しなければと、何度も水くみに。テレビは見ず、とにかく水確保のことばかり考えていた。13日に友人から「原発の水素爆発は報道されている以上に状況は深刻、できたら早く逃げるように。西に移動を。雨・雪にはめれないように。」とのメールが届いた。自分の両親にも「逃げた方がいい」と相談したが、「原発から60kmも離れている福島市には避難勧告は出していない。なんで避難する必要があるのか。」と反対されたが説得した。15日避難することに決めた。ガンソリンが手に入らない。どうやって逃げよう？と思っていたら福島空港から羽田空港の飛行機が出ているとの情報を入手。その当時、放射線管理区域以上の放射線量がでていたにも関わらず、福島市は勧告を出していなかった。外に出てはいけないのに、情報を伝えず、多くの子どもたちが水の確保のために外に2~3時間並んでいた。

あとから、スピーディ（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）というシステムがあったことを知った。国も県も市も知らず、危機管理がなっていないと思った。知人は11日に福島第一原発で働く弟から「300km圏外に逃げるように」と連絡があったそうだ。

18日福島を離れ、東京に。夫は福島、私と子どもは東京でという二重生活になった。メールから京都が福島からの自主避難者を受け入れるとの情報を知り、伏見区で生活を始めた。

福島では現在、放射線量の高いところの表土を削り、除染して放射線量は下がった。学校での体育の外の授業も再開している。保育園では室外で遊べる時間が年少は10分、年中は20分、年長は30分と決められている。

3.11前は放射線量被ばくの基準が年間1ミリベクトルが上限だったのに、国は年間20ミリベクトルに引き上げた。

私たちができることは「何が正しいか」を自

- ★ 4/6 京都市民医連主催「新入生歓迎企画」の学習企画として、2011年3月11日の地震による原発事故で京都に自主避難されている西山祐子さん（震災当時、福島市在住）に講演していただきました。その内容を紹介します。
- ★ 西山さんたちは「みんなの手」という避難者と支援者を結ぶ京都ネットワークを立ち上げ、様々な活動をされています。ぜひご覧ください。

→→→<http://www.minnanote.com/>

分が決めること。いろんな報道がされているが、私たちは「真実を伝えたい」と思っている。

福島に住んでいる友人もいる。「福島も線量が低くなってきたし、子どもの室内の砂場も冷暖房完備で出来たから戻っておいで。」と言われるが……。でも私は京都で外で自由に遊べるのが幸せ。私は母親なので子どもの命を守るために1%のリスクでも負わせたくない、と思っている。子育てって楽、と思ってきたが、一人の命を守ることがどれほど大変なことを思い知った。たとえ100万分の1の確率でもその1が自分の子かも知れないと思うと、そのリスクを負わせたくないと思う。

2012年夏、「子どもたちの夢の夏」というプロジェクトを立ち上げ、福島や他地域に避難している子ども家族を呼び、ボランティアの学生にもきてもらい、キャンプを行なった。フツウのことがしたいとの希望で、遊園地にもいった。「そとの空気を吸った時うれしかった。」と感想をいう子どももいた。

避難・移住者と地域が繋がる場所「みんなの広場」～ともに学んだり、体を動かしたり、手仕事をしたり、地域みんなが集まりほっこりできるコミュニティスペースも作った。春には伏見桃山に「みんなのカフェ」もオープンした。いろんな人とつながって、一緒に不安のものと原発や放射線のことも考えていきたい。

看護師になる皆さんへひとこと

ぜひ、みなさんには一人ひとりの命を大切に作る看護師になっていただきたいと思います。そして、ボランティアにもぜひ来てほしいと思っています。

【学生さんの感想】

★避難されている人も現地に残っている人も強いな、と思った。京都を離れていて現実味がないことから甘さがあるが、しっかり考えていきたいと思った。

★実際に被災された方の話を聞いたのは初めて。遠くのここのように感じていたけど、身近なこととして考えていきたい。

★「子どもたちの夢の夏」等のボランティアにぜひ参加したい。

看護学校受験をめざす高校生のための受験アドバイス会 アドバイザー募集！！

京都民医連では、看護学校受験を考えておられる高校生と社会人を対象に、「模擬面接会 & 受験アドバイス会」を以下の日程で開催します。ぜひ、先輩アドバイザーとして受験勉強のコツや勉強方法、看護学校の紹介をしていただけませんか。多くの先輩看護学生さんの参加をお待ちしています。

①日程 6月8日(土)14時～16時30

受験アドバイス会は15時40分～16時10分の予定

場所 京都民医連会議室(春日診療所3階)

②日程 7月13日(土)14時～16時00

場所 京都協立病院

アドバイスをさせていただいたお礼として、図書カード(¥1000)を差し上げます。交通費は実費で支給します。お友達と一緒に参加していただいてもかまいません。参加できる方は、6月2日(木)までに下記にご連絡ください。

担当 京都民医連事務局 看護学生担当 日西

TEL 075-314-5011

E-mail: kangogakusei@kyoto-min-iren.org

第11回近畿地協看護学生ゼミナール

Egg Nurse Step⇒B 参加者募集中！

- 〈日程〉 2013年8月9日(金)～10日(土)
- 〈場所〉 シーサイドホテル舞子ビラ神戸(神戸市内)
- 〈対象〉 看護学生ならどなたでも参加できます。
- 〈参加費〉 3,000円



ENSとは、Egg Nurse Step⇒Bの略称で、ナースの卵である看護学生で大きな輪を作ろう！みんなで成長してステキなナースになろう！という意味が込められています。毎年開催しており、今年で11回目を迎えます。学生と職員によるENS実行委員会が企画・運営をしています。

<連絡先・お問い合わせ先>

京都保健会(看護学生担当 佐藤)

TEL 075-813-5901(代表)

メール: kangaku@kyoto-hokenkai.or.jp

第二中央病院 師長室(看護学生担当 岩田)

TEL 075-712-9133(直通)

メール eggnurse@shinwakai-min.jp

京都民医連(看護学生担当 日西)

TEL 075-314-5011(代表)

メール kangogakusei@kyoto-min-iren.org



看護学生さんなら誰でも参加できます。
お友達を誘って来て下さい！！

私のオススメ
PLACE



こんにちは☆ 第二中央病院、看護学生さん担当事務の岩田です(*^_^*)

わたしが今回オススメしますのは…ベトナム料理のお店『XUAN〜スアン〜』です！ 2月までは今日を中心街四条で営業されていたのですが、北白川に移転されるとのことで、だいま準備中・・・。

四条にあるところは頻りに訪れていました☆今度は第二中央病院からすぐの距離に移転とのことで、個人的にはとっても嬉しい限りです！なんといってもオススメは鶏やエビのフォー、そして生春巻き！！生春巻きは、あまりの美味しさにテイクアウトはないかと聞くほどのお気に入りです（笑）（テイクアウトはありませんでしたが、）ベトナムの飲み物もたくさん！

料理はすべて昨年旅行で訪れたベトナムをそのまま再現したお味です♡

開店されたらまたこの『がんばれ看護学生！』でお知らせいたします☆

ぜひ行きたい！という方は御一緒しましょ～♪

《第二中央病院 看護学生担当 岩田》

